



6月1日～7日はHIV検査普及週間です

HIV/エイズについて考えてみませんか？

～沖縄県におけるエイズの現状～

沖縄県でのHIV/エイズの現状をご存じですか？

沖縄県は、全国的に見てもHIV感染者/エイズ患者の報告数が多い地域となっています。本県では、1987年以降、2024年までのHIV感染者とAIDS患者を合わせた累積報告数は、501件*となっています。年別では2014年の33件が最も多く、その後減少傾向がみられ、2024年は、前年を3件下回るものの、11件（HIV感染者数4件、AIDS患者数7件）*の報告があり、依然として感染が広がっている状況です。

診断時に既にエイズを発症している事例（いきなりエイズ）の割合は、毎年全国平均が約30%となっています。本県では2011年以降、2016年及び2017年を除き全国平均を上回り、**2024年も大幅に63.6%*と上回っている**ことから、早期発見のための検査機会を逸していると推察されます。また、厚生労働省エイズ動向委員会によると人口10万対における報告数で本県は、毎年全国の上に位置し、2023年はHIV感染者報告数は全国6位、AIDS患者報告数も全国2位となっています。沖縄県感染情報センターによると、沖縄県のHIV/AIDS報告数2023年の報告届出数の内訳です。年齢階級別では、40代が半数でした。性別は全員男性で、女性の報告はありませんでした。

*2024年のデータは暫定値です。

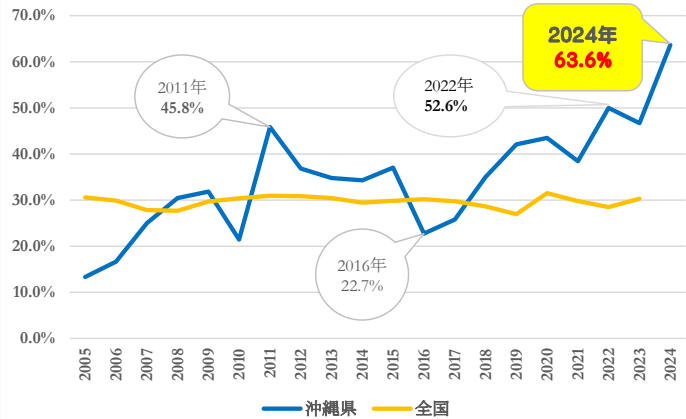
もしHIV陽性になったら？

エイズは、HIV（エイズの原因ウイルス）に感染するとおこる病気です。HIVに感染してから2～3週間すると、風邪のような症状がでます。その後、数年～10年くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。未治療だと進行し、微熱や下痢、肺炎等をおこし「エイズを発症した状態」＝「**AIDS患者**」となります。残念ながら現在はまだ、HIVを完治する治療方法はありません。しかしHIV感染を早期に発見し、抗HIV薬を服用すれば、エイズの発症を防ぐことが出来ます。また、服薬を継続することによって、体内でのウイルス増殖を抑え、検査でも検出できないウイルス量にすることが出来ます。これにより、健常時と変わらない日常生活と、非感染者と同じくらいの寿命が期待できます。

参考文献

・沖縄県感染症情報センター「沖縄県のHIV/AIDSの発生動向2014年～2023年」
https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/413/hiv_aids_2023_2r.pdf
・厚生労働省エイズ動向委員会「令和5（2023）年エイズ発生動向年報（1月1日～12月31日）」
<https://api-net.jfap.or.jp/status/japan/nenpo2023.html>

いきなりエイズ率（AIDS患者の割合）



令和5（2023）年新規報告数および人口10万対新規報告数の上位自治体

HIV感染者人口10万対

1位	東京都	1.75
2位	福岡県	0.88
3位	愛知県	0.78
...	...	...
6位	沖縄県	0.54

AIDS患者人口10万対

1位	佐賀県	0.63
2位	沖縄県	0.48
3位	香川県	0.43

HIV感染者とAIDS患者の合計

1位	東京都	2.14
2位	福岡県	1.16
3位	愛知県	1.14
4位	沖縄県	1.02



未来の自分のために…

HIV検査を受けてみよう！

宮古保健所では無料・即日・匿名でHIV・性感染症検査を受け付けています。

◆場所：宮古保健所 1階④検査室（電話：73-5074） 日時：毎週火・木の9:00～11:00、13:00～15:00

◆2025年6月2日（月）～6日（金）はHIV検査普及週間のイベントとして特例検査のため**毎日検査予定**です！

◆予約制ですので、必ず事前にお問い合わせください。（※2週間前から予約可能）

◆宮古保健所のHPより検査の仮予約が出来ます！

◆発熱・風邪症状、その他症状ある方は検査をお断りさせていただく場合があります。



宮古保健所健康推進班

TEL:0980-73-5074